

汚水処理人口普及状況について(2024年度)



環境省、国土交通省、農林水産省は、2024年度末時点における全国の汚水処理人口普及状況について合同で調査を行い、その結果を取りまとめました。

全国の汚水処理施設の処理人口は、1億1,613万人となり、この数字を総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、93.7%（2023年度末については、93.3%）となりましたが、未だに約780万人が汚水処理施設を利用できない状況です。

この普及状況は、大都市と中小市町村で大きな差があり、特に人口5万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は84.5%（2023年度末については、84.0%）と、全国平均からいまだ大きく後れている状況です。

関東地方では、東京都(99.9%)が最も普及率が高く、次いで神奈川県(98.5%)、埼玉県(94.3%)、千葉県(91.8%)、栃木県(90.6%)、茨城県(89.0%)、群馬県(85.8%)という結果でした。

処理人口を各処理施設別にみると、下水道によるものが1億140万人（総人口に対する普及率81.8%）、農業集落排水施設等によるものが283万人（同2.3%）、浄化槽によるものが1,175万人（同9.5%）、コミュニティ・プラントによるものが15万人（同0.1%）でした。

当社では排水分析について実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社分析担当者（フリーダイヤル 0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください

資料 [2025年8月22日付 環境省報道発表資料](#)

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

製品中 PFAS 分析について、規制される項目が増えています。

有機フッ素化合物 (PFAS) は、国内外で規制の強化が進んでいます。これまでの PFOS、PFOA に加え、PFHxS や PFOA 関連物質が化審法に追加され、POPs 条約においては、長鎖のペルフルオロカルボン酸（炭素数 9~21 のもの）などの追加が検討される予定です。

お問合せはこちら